

三菱ダクト用換気扇

〔台所・居間・事務所・店舗用〕

用途	ミニキッチン・湯沸室用
形名	VD-13ZY ₉ VD-15ZY ₉

取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けしないでください。
(安全や機能の確保ができません)

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗・台所（ミニキッチン）の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「2.各部のなまえ」を参照してください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど）やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
--	--

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	浴室での使用禁止
接触禁止	感電注意	指示に従う	

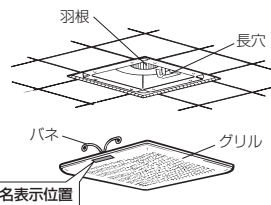
警告

禁止 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発・引火の原因。	指示に従う	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛着点検」をご参照ください。
水ぬれ禁止 ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。		
分解禁止 ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。	感電注意	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。
指示に従う ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。		

注意

禁止	●換気扇設置場所中で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。	接触禁止	●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	●直接炎のあたるとおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。		●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
浴室での使用禁止	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。	指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●部品の据付けは確実に 落下によりけがの原因。
	●浴室など湿気の多い場所には据付けない。また、使用しない 感電・故障の原因。		●長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
			●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
			●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。
			●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2.各部のなまえ



グリルの据付け方向を90° 変えることができます。

裏面の「5.グリルの調整」を参照ください。

ご使用にあたってのお願い

- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。（グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- 高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。（製品の変形やモーターの焼損の原因となります）
- 換気扇設置場所中で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（台所用中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
（異常音の発生、変質、変色、塗装ががれや故障の原因）

3.使用方法

注意

- 換気扇設置場所中で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

- スイッチにより、ランプが点灯して運転中がわかるものがあります。

お願い

- 給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）
- IHクッキングヒーター（電気コンロ）などを設置したミニキッチン・台所に据付けた場合、蒸気が大量に発生する調理をされると、換気扇本体に結露（水滴）が生じ滴下するおそれがあります。その際はご面倒ですが「鍋などに蓋をする」、「早めに加熱量を調整する」など水蒸気量が少なくなるようにしていただくか、滴下する前にグリルと本体内部を乾いた布などで拭き取ってご使用ください。（IHクッキングヒーターはガスコンロに比べ熱効率が高く、調理時に換気扇の周辺温度が上がりやすいため、特に冬期の温度が低い場合に換気扇で結露（水滴）が生じるおそれがあります）

メモ

- この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを付けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。

4.お手入れのしかた

グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。3か月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

注意

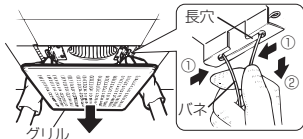
お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い

- 洗剤などをご使用の場合は台所用中性洗剤をご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。

1 グリルをはすす

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって本体内部の長穴からはすします。
- パネは片側ずつ取りはすすとスムーズにはすれます。



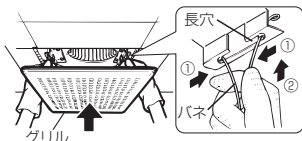
2 汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- 油煙の発生する場所でご使用されている場合、別売のグリスフィルターがグリルに据付けられています。
- グリスフィルターは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸し、タワシなどで表面を軽くこすって汚れを落としてきれいな水ですすぎ洗いをし、乾かしてください。（金属タワシなどは使用しないでください）
- グリスフィルターの据付け・取りはすしは、「グリスフィルターの据付け・取りはすし」を参照してください。



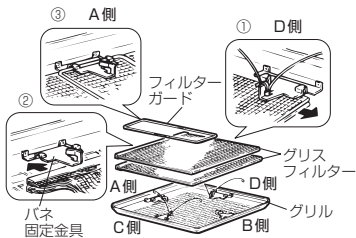
3 グリルを据付ける

- パネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。



■グリスフィルターの据付け・取りはすし

- グリスフィルターをお手入れの際は以下の手順で据付け・取りはすしを行ってください。
- (1) 右図のようにグリスフィルターを2枚合わせてA側方向からC・D→B→A側の順にパネ固定金具とグリルの間に差し込みます。A側に差し込む際に、グリスフィルターをグリルから浮かすと差し込みやすくなります。
- (2) フィルターガードをA・B側のパネ固定金具に引掛けてグリスフィルターを押さえてください。
- (3) 取りはすしは据付けと逆の手順で行ってください。



5. 修理を依頼する前に

このような症状があれば点検してください。

- コントロールスイッチを入れても羽根が回転しない。
(分電盤のブレーカーが切れていたり停電ではありませんか?)
- 換気量が不足する。
(屋外フードにほこりが堆積していませんか?)
- 運転中に異常音や振動がする。
(グリルや本体が確実に据付けられていますか?)
(屋外フードにほこりが堆積していませんか?)
- グリルがはずれかけている。または傾いている。
(本体に確実に据付けてください)

電源を切って必ず販売店に点検・修理を依頼してください。
費用については販売店に相談してください。

点検・処置しても直らないときは

※据付場所によってはダクト配管が長くなったり、曲がり部分が多くなる場合があります。この場合、換気扇への負担が大きくなり、羽根の回転数が上昇して風切り音が大きくなりますが異常ではありません。

6. アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
●技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 ダクト用換気扇
2. 形名 VD-○○○○
3. お買上げ日 ○年 ○月 ○日
4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
5. ご住所（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合
(転居や贈答品など)は、
各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
② 法令等の定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法 受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料) 携帯電話・PHS・IP電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号
FAX (0573) 66-5659 (有料)

■ご相談対応 平日 9:00~12:00 13:00~19:00
(土・日・祝及び弊社休日以外)

■上記時間帯以外のご相談 (受付のみ)
●三菱電機お客さま相談センター **0120-139-365** (無料)
フリーコール 三菱電機お客さま相談センター TEL (03)3414-9655 (有料)

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
インターネット <http://www.melco.jp>
携帯電話・PHSの場合
TEL 0570-01-8634 (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)

携帯電話サイト 
空メールの送り先:
fc8634@melsc.jp
または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。

7.仕様

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-13ZY9	23.5	27	160	170	38.5	39	2.8
VD-15ZY9	23	24	216	204	39	37.5	4.5

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
●経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。
(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を防止するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

標準使用条件	電圧		定格電圧による 定格周波数による
	電圧	周波数	
電圧	単相 100V	50Hzおよび60Hz	定格電圧による
周波数	50Hz	60Hz	定格周波数による
湿度	20℃	65%	JIS C 9603から引用
設置条件	標準設置	据付説明書による	「7.仕様」による

【負荷条件】
想定時間 1年間の使用時間
換気時間(分)
合計 2410時間/年
居室 2193時間/年
トイレ 2614時間/年
浴室 1671時間/年
注) 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか?
●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅いまたは不規則。
(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
●こげ臭いにおいがする。
●本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切った後必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

据付説明書

1.据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1.安全のために必ず守ること」（表面）、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2.据付け前のお願い

⚠️ 注意

- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付け

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 油煙の発生する場所に据付ける場合は、必ず別売のグリスフィルターをグリルに据付けてください。
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面を150mm以上離し、製品を据付けてください。

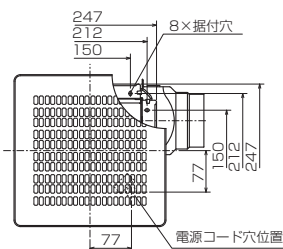
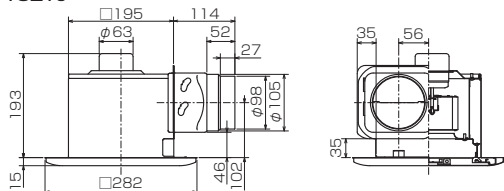
天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばの曲げ
 - しぼり
- 天吊金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替などで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

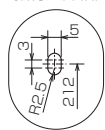
3.外形寸法図

【付属部品】 木ネジ……6本

■VD-13ZY₉



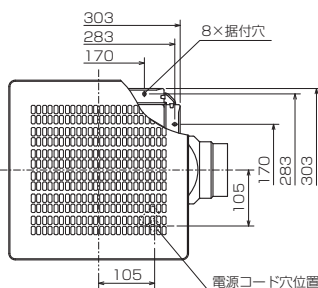
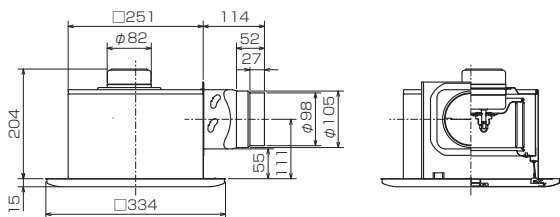
■据付穴詳細図



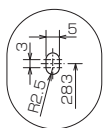
ダクト径
φ100mm
埋込寸法
□205mm
(野縁高さ30mm以下)

■VD-15ZY₉

単位 (mm)



■据付穴詳細図



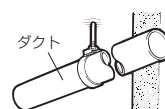
ダクト径
φ100mm
埋込寸法
□260mm
(野縁高さ45mm以下)

4.据付方法

1 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。(力が加わると風漏れの原因となります)

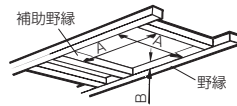


2 野縁組立

(天吊金具を使用する場合は天吊金具を使用する場合を参照)

内寸がA寸法、高さがB寸法以下になるよう天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。

- 野縁高さをB寸法以上で据付けると、シャッター開閉不良、異常音の原因となります。



単位 (mm)

形名	A寸法	B寸法
VD-13ZY ₉	205	30
VD-15ZY ₉	260	45

お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。野縁内寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合が発生します。

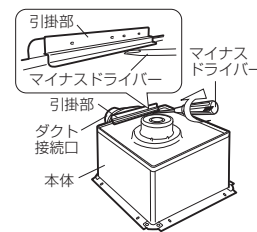
3 ダクト接続

ダクト接続口の取りはずし

ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。

1

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。



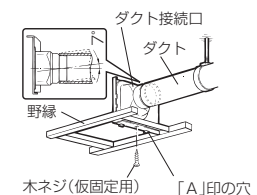
ダクト接続口の固定

- ダクト接続口をダクトに差し込み野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮固定する。「A」印の穴を使用
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

2

お願い

- ダクト接続口に無理な力が加わらないように注意してください。(力が加わると風漏れの原因となります)

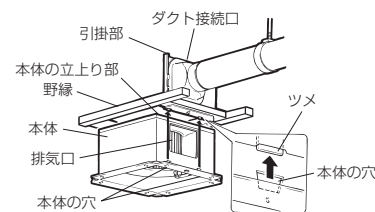


4 本体の据付け

本体の差し込み

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。

1



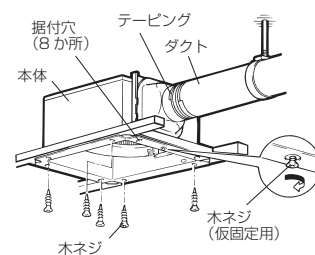
本体の固定

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ5本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)
- (2) ダクト接続口を仮固定している木ネジ1本を締め付ける。
- (3) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテープングする。

2

お願い

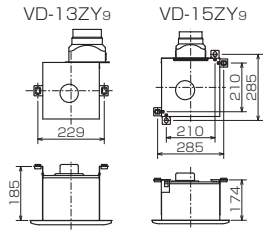
- ダクト接続をネジで行う場合はネジでダクトを接続する場合を参照してください。



天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して据付けの方法も兼用してください。

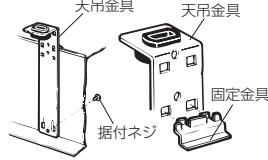
右図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。
(対角位置の2か所)



天吊金具 (システム部材) を据付ける。

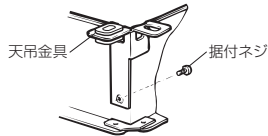
■VD-13ZY9の場合 (P-03TK2使用)

- 固定金具を天吊金具に差込む。
- 天吊金具を本体に引掛けて内側より据付ネジで固定する。

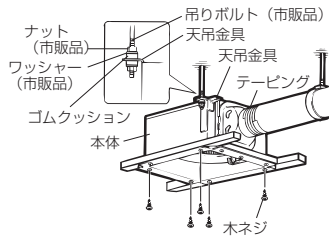


■VD-15ZY9の場合 (P-05TK使用)

- 天吊金具を本体に引掛けて内側より据付ネジで固定する。



- 本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。
- 付属の木ネジ5本で本体を野縁に固定する。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。



お願い

- ダクト接続をネジで行う場合はネジでダクトを接続する場合を参照してください。

5 電気工事

へつづく

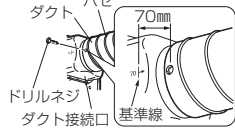
ネジでダクトを接続する場合

ネジによる接続

- 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。

- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。

- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



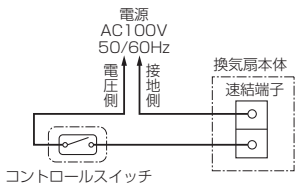
ダクト呼び径 φ100の場合			
ダクト外径 (mm)	100~105 (スパイラルダクト)	106~110	114 (VFP等々)
ネジ 呼び径	10	13	16

5 電気工事

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

■結線図 (太線部分を結線する)

■適応コントロールスイッチ



本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-13ZY9 VD-15ZY9	P-10SW2	4A-AC300V

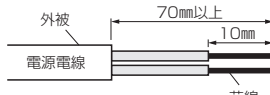
お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用 (交換部品代含む) はお客様のご負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

■結線の前に

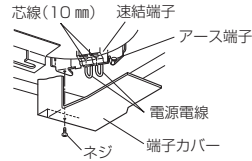
お願い

- 電源電線の外被は70mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふきは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。
(10mm以上むくと漏電の原因となります)
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子 (市販品) をより線に取付けてから連結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。
(圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210をご使用ください)



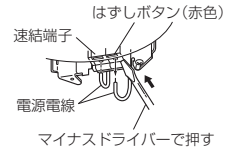
■結線方法

- 本体上部のゴムブッシュより電源電線 (屋内配線 VVF ケーブル φ1.6 または φ2) を通す。
- 端子カバーのネジ1本をはずして端子カバーをあげ、連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(結線図参照)
- 端子カバーをネジ1本で固定し元どおり取付ける。



●電源電線ははずす場合

- マイナスイドライバーで連結端子のはずしボタン (赤色) を押しながら電源電線を引いてははずしてください。

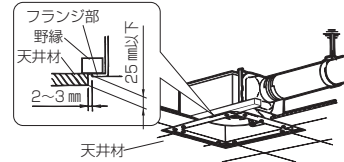


6 天井材を張る

- 天井材を張る。
- 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。

お願い

- 天井材の厚さは25mm以下で据付けてください。
(グリルが天井材に密着しない場合があります)



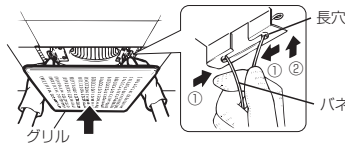
7 グリルの据付け

油煙の発生する場所に据付けた場合

- 油煙の発生する場所に据付けた場合、必ず別売のグリスフィルターを据付けてご使用ください。
- グリスフィルターの据付けは、「グリスフィルターの据付け・取りはずし」(表面) またはグリスフィルターに付属の取扱説明書を参照してください。
- グリスフィルターは右表を参照し、本体形名に合ったものを据付けてください。

本体形名	グリスフィルター形名
VD-13ZY9	P-13GFZ-M
VD-15ZY9	P-18GFZ-M

- グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。
パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。



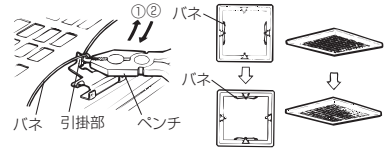
5.グリルの調整

グリルの方向を変更する場合: 天井材に合わせてグリルの方向を変更できます。

- パネを固定しているグリルの引掛部をペンチなどで開き (①)、パネをはずす。
- はずしたパネの位置を変えてグリルの引掛部にパネを引掛ける。
ペンチなどで引掛部を曲げ (②)、抜け止めをする。

お願い

- グリルの引掛部はゆっくりていねいに折り曲げてください。急に強く曲げたり、何度も繰返しますと折れることがあります。



6.試運転

- コントロールスイッチがある場合は、切/入が正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

7.修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する (スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇に AC100V が供給されていることを確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定 (天吊金具・ネジ止め) が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい (ガラリ・アンダーカット)	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい (ダクト配管)	ダクトのつぶれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい (屋外フード)	屋外フードのほこりを清掃する (特にリフォーム時)